

私情協  
ニュース  
NO. 1平成27年度ICT利用による教育改善研究発表会  
受賞者決定

## 1. 本発表会の趣旨

本発表会は、全国の国公立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT活用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上をはかることを目的として、平成5年より実施している。優れた発表に対しては文部科学大臣賞（最優秀賞）や私立大学情報教育協会賞（優秀賞）を授与するとともに、論文誌「ICT活用教育方法研究」と本協会ホームページに研究論文を掲載し、その教育業績を顕彰する。

本発表会は今年度で22回目となり、これまでに文部科学大臣賞5件、協会賞32件、奨励賞45件、佳作4点を顕彰してきた。なお、本発表会では毎年度、文部科学省の後援と文部科学大臣賞の交付が認められている。

## 2. 選考方法および結果

今年度のICT利用による教育改善研究発表会は、平成27年8月7日に東京理科大学森戸記念館で開催し、人文、社会、理工、情報、医療系の分野から56件の発表があった。選考は、「教育上の問題解決を図るために、ICT利用による教育改善の目的・目標が明瞭になっていること」「ICTを利用した教育改善の内容と方法が明瞭になっていること」「教育改善の効果が示されていること」を基準に行い、授賞選考委員会により11件の研究を選考した。その後、10月3日に行った2次選考の結果、「奨励賞」1件の授賞が決定した。

表彰式は、11月25日に本協会の第13回臨時総会の冒頭に行い、文部科学省高等教育局専門教育課の北山浩士課長による来賓挨拶、ICT利用教育改善発表会運営委員会の宮川裕之担当理事による発表会の概要説明と本年度結果報告の後、本協会の向殿政男会長による奨励賞の表彰楯の授与を行った。受賞者は次の通り。



左から文部科学省専門教育課 北山課長、受賞者の北海道医療大学 越野氏、本協会 向殿会長



本協会 向殿会長



文部科学省 北山課長

## 平成27年度ICT利用による教育改善研究発表会 受 賞 者

### 奨 励 賞

#### ■ 「仮想患者を用いた教育システムの開発と活用」



北海道医療大学  
越野 寿氏



北海道医療大学  
豊下 祥史氏



北海道医療大学  
斎藤 隆史氏



昭和大学  
片岡 竜太氏



昭和大学  
宮脇 隆氏



岩手医科大学  
城 茂治氏



岩手医科大学  
三浦 廣行

#### <授賞理由>

本研究は、増加しつつある有病高齢者に対して安全に歯科治療できるよう、3大学連携で歯科医師会の協力により基礎知識習得と臨床推論能力養成のためのICT教材を開発・導入した取り組みである。eラーニング教材による課題学修やテスト、仮想患者教育システムによるチャット形式の医療面接等を通じて、学生すべてに症例を経験させ理解度向上に貢献している。